



2011年4月1日発行
 発行人：河野 忠友
 発行所：〒650-0024 神戸市中央区
 海岸通8神港ビルディング509
 TEL：078-393-0050
 FAX：078-393-0051
 E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
 URL：<http://www.kobekeio.org/>
 編集人：齋藤 洋邦

～1月新年例会レポート～

山中 勸 (商63法)

1月14日19時00分より、三宮・西村屋 和味旬彩において1月新年例会が開催されました(参加者90名。神戸慶應倶楽部からの登録者数は30名)。



今回は、神戸慶應倶楽部と関西不動産三田会の共催です。合同開催は4年ぶりです。

関西不動産三田会の上川女史(昭53年経)の司会で開会。

佐井会長からの新年ご挨拶の後、慶應義塾大学商学部 菊澤研宗(きくざわ けんしゅう)教授より「なぜ企業は不祥事に導かれるのか～日本陸軍に学ぶ組織の不条理」と題して講演を頂きました。



多発する企業の不祥事の本質は何か。マスコミの報道や世論は、不祥事を起こした企業や経営者が無知だ、馬鹿だという論調で批判することが多いが、本当にその会社は無知で馬鹿だったのか？不祥事を起こした企業には、有名な会社が多く、優秀な人々もいたはず。無知で非合理で馬鹿だというのは簡単だが、この見方だと再発防止はできない。なぜ日本軍は負けたのかということと企業不祥事には共通点がある。日本の敗戦が最も優秀な人々が最も非合理的なことをやった実例でもあると菊澤教授はおっしゃいます。

日本軍は無知だったのか？

米国についても無知だったのか？

そんなことはありません、山本五十六等の海外留学組、駐在武官経験者が要職についていました。

組織の不条理さ。

個別には合理的だが、全体では非合理。

個別利益と全体利益のずれ。

個別利益と社会倫理のずれ。

このような話の後、日本陸軍の「ガダルカナル作戦」の失敗の状況をご説明いただきました。米

軍に占領されたガダルカナル島を奪還しようという作戦ですが、アメリカの近代兵器に対して日本陸軍が得意とした「夜襲による白兵突撃」を何度も行い、多数の戦死者を出してしまいます。

なぜその作戦が立案され、実行されるに至ったのか。

それまでの日本軍の準備(戦車、銃剣、教育訓練・・・)は過去に成功した「白兵突撃」のために設計されており、白兵突撃を否定することは、過去の全ての投資や、過去の戦死者を否定することになる。

これが作戦を変更するという判断のできない「合理的理由」である。頭のいい人ほど、「合理的に非合理・非効率」な判断をしてしまう。現代の企業の不祥事も同じ構造です。

社会規範に則った判断をしたときに発生する膨大な「コスト」を考え、隠蔽を考える。

話は、ミクロ経済学にも及びます。「自由な市場取引」によって資源は効率的に配分されると考える、新古典派経済学の問題点。それは人間は完全合理的であるという仮定にある。

現実には人間は完全合理的でも完全非合理的でもない。つまり「限定合理性」の仮定に基づくべきである。「限定合理的」な人間の世界では、市場取引には、取引上の無駄、つまり「取引コスト」が発生する。取引コストとは、会計上では現れない見えないコストのこと。

正しいことをやることによるメリットと、それをやるためのさまざまな苦勞(これが取引コスト)。これを比較して、苦勞の方が大きいから正しいことをやらない。

これが「不条理」です。

では、そのような不条理の発生を回避するためにはどうすればよいか。菊澤教授は、

「正義を追求するリーダーの存在」、「絶えず変化する組織」だとおっしゃいます。



私自身にとっても大変考えさせられる貴重なお話となりました。



講演の部終了後、場所を3階の大広間に移しての「新年会」。

佐井会長、関西不動産三田会の喜多村代表世話人らによる「鏡開き」の後、関西不動産三田会にも所属しておられる和田憲昌元会長の乾杯でスタート。途中、オブザーバー参加者、新入会員、ご無沙汰会員等の挨拶をはさみながら、西村屋さんのおいしいお料理に舌鼓を打ちました。最後は全員で肩を組みながらの若き血の大合唱でお開きとなりました。



するのではなく、むしろ元気に行動していくことが何よりも大切だとのことで、まさにその通りであると私自身感じました。最後に10月に開催される関西合同三田会に関しては、登録の受付を開始したこと。本件を大成功に収めるためには早い段階から多くの方々に登録をしていただき、みんなで盛り上げて行きましょうという趣旨のお話がありました。

次いでご多忙でなかなか例会にてお見かけできなかった五代先輩、高橋先輩からもご挨拶を頂きました。お二人からは、元気を出し日本全体としてこの震災を乗り越えようといったお話や、神戸慶應倶楽部が主幹となる関西合同三田会を成功に導くためにみんなで力を合わせて行こう、といった趣旨のお話を頂きました。

状況を鑑み、乾杯は自粛し、他のお客様もいらっしやるということで若き血の合唱は行いませんでしたが、いつもながらの東天閣様の大変美味しい料理に舌鼓を打ちながら、久しぶりの会員同士の話にも花が咲きました。また途中では当日出席された新入会員の方々からのご挨拶もあり、関西合同三田会に向けた神戸慶應倶楽部の結束力の強さを再認識した例会となりました。またこの場をお借りして素晴らしいお料理と心温まるひと時をご提供いただいた中神先輩、並びに東天閣のみなさまに御礼申し上げさせていただきます。



～3月例会@東天閣 レポート～

齋藤 洋邦 (平12商)

3月18日(金)トアロードにある、洋館中華料理店「東天閣」にて3月例会が行われました(出席者53名)。今回の司会者は、最近独立され、ご自身で弁護士事務所を開業された矢形副幹事が行われ、冒頭に佐井会長からご挨拶を頂きました。



東北地方太平洋沖地震の被災者の方へのお見舞いの言葉から始まり、阪神・淡路大震災で日本中から助けられた中で、今こそ被災者の方々にできる限りの支援を、ということで、各テーブルには義捐金を募る封筒がおかれ、出席者の皆様にもご協力のご依頼がありました(募金総額115,000円は慶應義塾東北地方太平洋沖地震義援金口座に振り込まれたとのことです)。またこのような状況の中で、今回3月例会の開催に及んだ経緯についてもお話があり、萎縮

～福澤先生生誕記念祝賀会報告～

河野 忠友 (平1商)

去る平成23年1月10日、大阪上本町のシェラトン都ホテルにおいて大阪慶應倶楽部主催による福澤諭吉先生生誕176年記念祝賀会が盛大に挙行されました。

式典はまず塾歌の斉唱で始まり、銭高一善大阪慶應倶楽部会長よりご挨拶がありました。続いて清家篤塾長による講演があり、一昨年来の義塾創立150周年記念事業が大成功を収め慶應義塾が未

来に向かって進みだしたことをお話になられました。また慶應義塾は学問を通じ新しい付加価値を創造し、世界と日本の各地域において変化に対応できる人材を育成してゆくと述べられました。

式典に続き塩川正十郎元財務大臣による乾杯のご発声で懇親会が始まり、終始和気藹々としたムードの中、新春の交歓が進行してゆきました。

本年は特に主催者の計らいにより神戸慶應倶楽部佐井会長のスピーチタイムが設定されました。我が佐井会長は本年10月23日に神戸にて開催される関西合同三田会をダンディにスマートにアピールされました。

佐井会長曰く、昨年の関西合同三田会開催地は滋賀県大津で今年のNHK大河ドラマは「お江」、来年の大河ドラマは「平清盛」、合同三田会は「そして神戸（開催）」なんだそうです。「合同三田会の開催地は翌年の大河ドラマの舞台になる」、この流れるようなスピーチは出席者一同の喝采を浴び、最後は「若き血」の大合唱にて閉会となりました。

末筆となり恐縮ですが、毎年福澤先生ご生誕の地である大阪にて生誕記念祝賀会を主催されます大阪慶應倶楽部銭高会長はじめ会員の皆さんにあらためて感謝申し上げます。

～～関西合同三田会に向けて～～

式典担当委員長 土井 正孝（昭63商）

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震におきまして、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さま、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

この未曾有の大災害が発生した年に、16年前、阪神淡路大震災で大きな被害を受けた神戸の地で関西合同三田会が開催されることに運命を感じるをえません。

関西合同三田会が開催される10月23日（日）には、被災地では復興が力強く行われていることと思います。復興を果たした神戸から、その復興を少しでも後押しできる力がおくれるような会に出来ればと思います。

式典は、恒例通り塾歌斉唱で始まり、来賓紹介・歓迎の挨拶等を行い、連合三田会会長からの祝辞、そして、清家塾長からのご講演を頂く予定にしております。また、地元首長にも来賓としてご出席いただけないか現在調整を行っております。

式典は厳かな中にも、震災の復興を成し遂げた神戸らしいメッセージが届けられるものにしたいと考えております。

式典担当は、式典そのものだけではなく、神戸に来ていただける方々の誘導・受付等も役割であ

り、一人でも多くの神戸慶應倶楽部会員皆さまのお力をお借りしないと出来ません。一人でも多くの皆さまに関西合同三田会に参加頂くとともに、皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

会員だより

大変素晴らしいことに、今回は4年ぶりの開催となった関西不動産三田会へのレポートを2件いただきました！（編集部の不手際ではございません!?）それぞれ素晴らしいご報告をいただきましたので、もう一方のレポートをご紹介します！皆さん是非お楽しみください！！

＜神戸慶應倶楽部1月新年例会のご報告＞

坂元 清輝（昭55商）

1月14日に開催された神戸慶應倶楽部新年例会のご報告をさせていただきます。今回は4年ぶりの関西不動産三田会との合同の開催で約90名（神戸慶應倶楽部からの登録者数は30名）の参加を数え、三宮の西村屋和美旬彩で盛大に開催されました。

冒頭、我等が佐井会長より本年秋に神戸ポートピアホテルで開催予定の関西合同三田会の絶妙なPRを兼ねたご挨拶を頂き、メインの慶應義塾大学商学部 菊澤研宗教授のご講演を傾聴し、関西不動産三田会喜多村代表の閉会のご挨拶、河野、佃両幹事長の会務報告の後、西村屋伝承のかに料理の懇親会となりました。歓談中、新入会員紹介や自薦他薦の会員PRで大盛り上がり。最後は恒例の若き血の大合唱で、終了予定時刻を30分もオーバーし終了いたしました。

ここでは菊澤先生のご講演内容を自分の理解したレベルで記載し、神戸慶應倶楽部新年例会のご報告とさせていただきます。

講演「なぜ企業は不祥事に導かれるのか ～日本陸軍に学ぶ組織の不条理」

バブル崩壊後日本の優秀な企業倒産が相次いで発生したが、本当に当事者は無知で無能だったのか、の問いに、最も優秀な人間たちの馬鹿げた行為として太平洋戦争で日本陸軍が犯したガダルカナル島戦の4度に亘る白兵突撃での大敗北を具体例として取り上げました。この作戦の背景には「組織の不条理」というものが存在し、非効率な中にも合理性がありその上で失敗したというものでした。

「不条理」とは個別では合理性があるが全体では不合理になるということ。何故、非効率と分かっている白兵突撃やガダルカナル島に固執したのか。馬鹿な行いなのか。いや合理性がありその上

での失敗でした。

これを説明する理論は「取引コスト理論」である。キーボードのクワーティ（QWERTY）配列が普及した例をあげ、市場はいつもいい答えを出さないのではないかを説明。現実の人間は完全でなく、市場取引には常にコストが存在する。しかも会計上のコストではなく人間関係上のコスト。つまり利害関係者が存在することを認識する。旧日本軍は自信と伝統と数多くの犠牲の上に白兵突撃があると信じており、この戦術を変える為の人間関係上のコストが大きくて他の合理的な戦術をとることができなかった。

現代での、実は私も乳業界に身をおく者として一連の騒動を肌で体験した雪印乳業食中毒事件（この事件後食品メーカーのリスクコンプライアンスへの取り組みが大きくクローズアップされたのですが）や三菱自動車のリコール隠蔽事件を例にあげて、同様に公表するコストと隠蔽するコストを人間は考えてしまうと説明。

内部の論理にこだわる人だけでは改革は難しい。利害関係の無い人、損得勘定を入れない人をリーダーとして、その決断、行動を邪魔しないことが大切。（日産カルロス・ゴーン社長のV字回復が代表例）問題の事前や早めに手を打つのに「批判」を受け入れるという行為が否定される組織は成長しない。問題が早い段階で解決できる組織は批判を受け入れている。批判ということは否定でも肯定でもない。どこまで認めてどこから違う、もっと良くしていこうという考え。批判は誰でもできない。名誉欲や金、権力に負ける人間は批判できない。他律的意思でなく自律的意思で生きることが人間の尊厳である。自分の意思があり啓蒙された人のみ批判的議論ができる。ソニーやマクドナルドに代表されるが、変化する環境に安定して対応できる会社は強い。

まとめとして、「組織の不条理」に陥らない為に、

- ・ 「取引コスト」を節約できる法則、規制を生み出す。

- ・ コストにとらわれない道義をつくる勇氣あるリーダーに助けられる。

- ・ 批判的議論を通して内部が変化していくこと。（私はこれが理想的だと思いますが）

という内容でした。

最後の質問で、どなたからか、企業のトップを制する程の強い価値基準を持つことで企業が存続する方法もあると思うがどうか、と問いかけがあり、菊澤先生も是非今後の参考にしたいとのこと。しかし、普遍的な価値は一定の地域では可能だが、多国籍企業に問題がでてくるのではないかとのお考えでした。

本当に有意義な新年例会でした。



《新入会のご挨拶》

田村 明士（昭56法）

昭和56年法学部法律学科卒業の田村明士です。この度、神戸慶応倶楽部へ入会させて頂きました。

在学中は米津ゼミに所属し、スポーツは慶應バードフェローズでバドミントンを楽しんでいました。

卒業後JTBに入社し大阪、東京、倉敷、京都で勤務し、2010年の2月からJTB西日本神戸支店長として神戸でお世話になっております。

神戸は京都生まれの私にとっては海と山を感じられる憧れの地でしたので、この街で働ける事を嬉しく思う気持ちは転勤後半年たった今も変わらず、さらに強まっているくらいです。

旅行を販売するという旅行業でお役に立つことは勿論ですが、神戸にさらに多くの方が訪れるような活動にも傾注したいと考えていますので、皆様からのご支援、ご鞭撻をいただけますよう宜しくお願い申し上げます。

《新入会のご挨拶》

宮崎 裕（昭63法）

昭和63年、法学部法律学科卒業の宮崎と申します。この7月より、河野幹事長のご紹介により倶楽部に入会させて頂きました。

現在、神戸大丸横の三菱東京UFJ銀行神戸支社に勤務しており、住吉にある単身赴任者用の寮にて快適な神戸生活を送っています。

現役時代はダックスアメリカンフットボールクラブに所属し、文字通り4年間はアメフト漬の日々を過ごしていました。入社後も社会人リーグで4年程プレーをしましたが、その縁あってか現在も「オール三菱ライオンズ」という社会人チームの事務局を務めています。

アメフトのメッカでもある関西地区で、いよいよ開幕する学生のリーグ戦を観戦するのも今から楽しみの一つです。

関西への単身赴任は5年前に赴任した京都に次いで二度目の経験です。京都時代はあまり訪れることも出来なかった憧れの神戸で仕事や遊びができる喜びを、着任後10ヶ月経過した現在、改めて噛みしめているところです。東京の自宅へ帰省しない週末は、六甲山から有馬温泉へのハイキングや、京都勤務時代に一度満願を達成した西国三十三カ所巡りの二順目に加え、新西国三十三カ所、神戸十三仏等の朱印帳を複数抱えて、名所・古刹を行脚する気ままな時間を満喫しています。

倶楽部を通じて諸先輩、後輩との新たな出会いの機会を頂けたことを大変喜んでおります。伝統ある神戸慶應倶楽部の会員として相応しい活動を

心掛けますので、皆様どうぞ宜しくお願い致します。

《新入会のご挨拶》

佐井 貴史 (平 15 経)

この度神戸慶應倶楽部に入会させていただきました平成 15 年経済学部卒の佐井貴史と申します。

出身は神戸で、中学卒業後に湘南藤沢高等部に進学し塾生の一員となりました。高校時代は親元を離れた寮生活で今でも親交の続く多くの友人達に出会いました。部活では幼少の頃より励んでいた水泳部に入部、高校 3 年次には主将を務め目標であったインターハイ出場を果たしました。大学では経済学部に進学、目標がインターハイ出場だったので体育会の水泳部には所属しませんでした。しかし、勉学の方では神代ゼミに所属し新たな友人達と出会い親交を深めながら様々な貴重な経験をしました。

塾を卒業後、神戸に日本の本社を構える消費財メーカーのプロクター・アンド・ギャンブルに就職、入社後は営業として関東甲信越エリアの様々な場所で勤務をしてきました。昨年平成 21 年より神戸での本社勤務になったのを期に神戸慶應倶楽部に入会させていただくことになりました。皆様よろしくお願い致します。

《新入会のご挨拶》

松沢 尚浩 (平 16 経)

はじめまして、2004 年度経済学部卒業の松沢 尚浩と申します。

私は、生まれは中央区の下山手通り（元町の北側です。）で、6 歳の時に中央区の熊内橋通（新神戸駅の東側です。）に引っ越しました。

中学受験で、関西の学校に失敗し、中学・高校と 6 年間、愛媛県の愛光学園という学校で、男子校・男子寮（現在は、共学）という濃い生活を送りました。大学は、縁あって慶應義塾の門戸を叩く事はでき、卒業後は、6 年間東京で、生命保険の営業・ベンチャー立上げ等を行い、2010 年より貿易を営む神戸の父の会社に戻って参りました。

私は神戸の台湾華僑でして、以前は、李尚浩と名乗っていました。今でも神戸の知人には私の事を、李一ちゃんと呼ぶ人もいます。

生まれた町でもある大好きな神戸に 17 年ぶりに戻って参りました。スポーツが好きで、中学・高校時代はバスケットを、義塾時代は、ダンスサークルに所属しダンスを、現在は、サーフィンを趣味としております。

若輩者ではありますが、大先輩方に少しでもお

近づきになれたらと思います。どうぞ、今後ともよろしくお願いいたします。

同好会だより

読書会

《神戸慶應倶楽部読書会 第 14 & 15 回》

第 14 回目の学問のすすめ読書会が 1 月 21 日（金）、18:30 から、佐井裕正会長が社長を務めておられる中日輪船商事株式会社の会議室で行われました。参加者は、佐井、堀切、浅沼、阪本、藤井、六拝、左川、福野、鈴木、野田、古武、古淵、宍戸、池田、八巻、玉田、日野の 17 名でした。昨年は堀切さんの抜粋版に拠って学問のすすめの各編の核心を掴んできましたが、今回で 15 編「事物を疑て取捨を断ずる事」16 編「手近く独立を守る事」と進み、17 編「人望論」の最終編まで完了しました。慶應倶楽部の設立も 17 編の「同塾同窓の懇意にても塾を巣立ちたる後」に「ただに旧友を忘れざるのみならず、兼ねて新友を求め相接する」ことが大事だという福澤先生の教えに基づいていることを再確認しました。

第 2 部では、新装なった佐井会長の会社のレセプションルームやラウンジを開放して頂き、窓外に素晴らしい神戸の冬の夜景を楽しみながら、ワインとビールで新年を祝いあいました。

第 15 回目の学問のすすめ読書会は 3 月 16 日（水）に阪本豊起副会長の事務所で行いました。参加者は、堀切、浅沼、藤井、六拝、福野、阪本、野田、鈴木、古武、池田、古淵、八巻、宍戸、日野の 14 名でした。3 月 11 日に突然起こった東北地方太平洋沖地震とそれに伴う原子力発電所の事故を受けて、その日本や東京および関西に及ぼす経済的影響について報告や考えが披露されました。今回からはあらためて「学問のすすめ」の原文にかえり福澤先生の巧みな例え話の表現までを味わっていきます。学問のすすめの輪読のほうも予定通り初編に返り、2 編まで輪読しました。六拝さんから明治 5 年 2 月に出版された初編のコピー版も披露されました。

第 2 部では、やはり大地震や原発の問題および池田さんから理事長として主催された「NAMB A なんなん大阪弁川柳コンテストの入賞作品が披露されました。

次回は平成 23 年 5 月 17 日（火）18:30 から、阪本副会長の事務所（建隆ビルⅡ3 階）で、「学問のすすめ」第 3 編「国は同等なること」から始めます。

2部の飲み会の割り勘代3,000円と「学問のすすめ」(岩波文庫)を持って気軽においでください。会場は神戸慶應倶楽部のある神港ビル(旧居留地8番)の西隣(東京海上)の更に西隣(6番)の全面ガラスの建隆ビルⅡの3階です。商船三井ビルの東隣です。18:30以降は正面玄関が閉まるので地下通用口からお入りください。但し、お酒とさかなの準備がありますので、前回の出席者以外の方は阪本まで事前にご連絡頂ければ幸いです。

なお、今回の大震災を読み解くための参考までに、いずれも著者は神戸慶應倶楽部で講演をして頂いた方です。

1. 「ベイジン」 真山仁著 幻冬社文庫
中国を舞台にして原子力発電所の建設と発生した事故(メルトダウン)を描く
「ハゲタカ」の著者
2. 「TSUNAMI 津波」高島哲夫著 集英社文庫
東海大地震で空前の大津波が太平洋岸を襲う。超高層ビルの建築主は、原子力発電所の職員は、自衛隊員はどう運命とむきあったか？
大迫力の防災サスペンス
著者は元原子力研究所研究員、映画ミッドナイトイーグルの原作者。神戸慶應倶楽部会員

読書会世話役 阪本豊起

イーゼル会

《今月の絵》



井上 翠

(昭35法 井上光氏夫人)

イーゼル会では今年は秋の第四回グループ展に向け、大作・迷作を量産すべく挑戦或いは無駄な努力(?)をして行きます。

水彩に興味のある方は、毎月第二・第四木曜の夕方(18時頃から)倶楽部ルームで描いています

ので是非のぞきに來て下さい。お待ちしております。

イーゼル会世話人 天木 明

会員の輪

《全国高等学校ラグビー大会観戦記》

土井 正孝 (昭63商)

大寒波襲来の歳の瀬12月30日、9年ぶり33回目の花園出場を果たした、神奈川第一地区代表慶應義塾高校蹴球部の応援に行ってきました。

当日は朝から雨がパラツキ、午後からは雪の予報。全身ヒートテックに身を包み、完全防寒のいでたちでいざ出発。会場到着時には雨もあがり、何とかこのまま試合を観戦出来たらという願いもむなしく、試合は雪ならぬ雨の中での観戦となりました。しかも、運悪く、屋根で雨をしのげる席には座れず、傘をさしながらの観戦となりました。観戦には、ラグビーが好きなわりにはルールをよく理解していない私をサポートするかのよう、神奈川県ラグビー協会役員の肩書をお持ちの当倶楽部 康乗克之先輩(昭58商)もご一緒に、分かりやすくかつ熱い解説を聞きながらの試合観戦となりました。

試合は、雨や寒さを忘れさせる熱いものとなりました。長崎代表の長崎北陽台を相手に、前半6分と29分に塾高がモールを押し込みトライ。前半を12-0で折り返し、流れは塾高と思いきや、後半5分に長崎北陽台がトライ。後半14分にはトライとゴールキックを決められ12-12の同点に。そして、終了まで残り4分の後半26分にはペナルティゴールを決められ12-15と逆転されてしまいました。内心このまま終わってしまうのかという心配もよそに、シード校の意地を見せた塾高は、ペナルティゴールで同点に出来るチャンスがあったものの、ペナルティゴールを選択せず、逆転トライをとりにつなげました。そして、何と終了間際の後半30分、塾高はモールを押し込み、トライを奪い逆転。ゴールはずしたものの、そのままノーサイドとなり劇的な逆転勝利を手にしました。この試合では、同点に終わった場合、抽選で勝者を定めるルールとのこと。自分たちの力を信じ、あくまでも自分たちの力で勝利をつかみにいった姿勢の勝利だと思いました。試合終了後にお見かけした清家塾長の笑顔も印象的でした。

ノーサイドの笛のなった時には雨もあがり、試合中のみを使った濡れた傘を持って帰路につきましたが、寒いながらもその寒さを感じさせない暑い時間を過ごすことの出来た一日でした。元旦に



行われた東京第二代表の国学院久我山との第三回戦は、善戦むなしく0-21で敗れましたが、是非、また花園に塾高蹴球部の姿を見せてもらいたいと思います。そして、

2019年日本で開催されるラグビーW杯日本大会のグラウンドでも塾高蹴球部出身者の姿を見れることを祈念してやみません。

普段、会の行事に出席できない方、遠隔地の方も誌面に登場して参加してください。皆さんの投稿をお待ちしています。

B R B 編集部 kobekeio@dream.ocn.ne.jp

～～今後の行事予定～～

4月19日(火) 慶早ゴルフコンパ 廣野ゴルフクラブ
4月22日(金) 4月例会 神港ビル1A
5月25日(水) 定時総会 旧居留地リエンタル

～事務局よりお願い～

★ **4月は年会費の振込月になっております。自動引き落としの会員さまは4月27日(水)に会費の引落しがございますので、口座及び残高確認をお願い致します。**

◆例会等にご出席の会員様はお食事等の準備の都合がありますので、**必ず事前に事務局までお申し込みをお願いします。**なお、前々日からのキャンセルにつきましては**例会費全額を頂きますのでご了承ください。**

◆住所・電話番号・メールアドレスの変更がある場合は、必ず事務局にお知らせください。

詳細はその都度お知らせいたしますので、毎月のメールマガジンでご確認ください。

～～4月例会のお知らせ～～

日時：**2011年4月22日(金) 18時より受付**
場所：神港ビル1階A会議室
※今回は現会員からの2本立てでお送りします！
演題：「スマートフォン あれこれ」
講師：NTTドコモ神戸支店長 日向 達会員 (昭60法)
演題：「顧客本位の地域密着医療サービス」
講師：医療法人チャールスマイル代表 児玉秀樹会員 (平22院)
会費：3,000円

～～評議員会のお知らせ～～

日・場所：同上
時間：20時開始予定

東北地方太平洋沖地震義援金

現在、慶應義塾では東北地方太平洋沖地震への義援金口座を開設しております。寄せられましたご厚志の義援金は、日本赤十字社に寄付するほか、「慶應義塾救援医療団」の支援に使用させていただくこととし、収支につきましては「三田評論」、「三田ジャーナル」、義塾および連合三田会の各ホームページ等に公表してまいります。皆様、是非ご協力ください。

義援金受け入れ口座

口座名：『慶應義塾東北地方太平洋沖地震義援金』

(ケイウキジユク トウホクチウチ タイヘイヨウキジシキ ギエンキン)

三井住友銀行 三田通支店 普通預金

口座番号 8243412

※募金期間は、3月17日から4月末までとさせていただきます。

※慶應義塾からの領収証発行はできかねます。寄付金控除を希望される方は、日本赤十字社等に直接お申し込み下さい。

お問い合わせ先：慶應義塾基金室

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

電話 03-5427-1542

kikin-box@adst.keio.ac.jp

<http://www.keio.ac.jp/ja/news/2010/kr7a43000005ezjj.html>

～～定時総会のお知らせ～～

日時：**2011年5月25日(水) 18時より受付**
場所：オリエンタルホテル 4階テラスルーム
※旧居留地のオリエンタルホテルになります！
総会開始：18:30
懇親会開始：19:15頃～
終了予定：21:00
会費：9,000円
(女性：-2,000円・ビジター：+1,000円)
不動産三田会に倣い、女性会費を抑制します。

編集後記
○東日本大震災で被害を受けた皆様、心よりお見舞い申し上げます。日本は今様々な損失に直面しています。しかし、こんな時だからこそ、私たちはふだん通りに過ごすことが大切だと思います。買いため行為に走らない事は勿論、消費活動も自粛すべきではないと思います。消費することによって、需要が生まれ、産業が活性化し、雇用が生じる。ですから皆さん、アメリカ的ではありませんが、大いに消費しましょう！(洋)